

あそぶ、まなぶ、いきる。

山と溪谷社

An impress Group Company

各 位

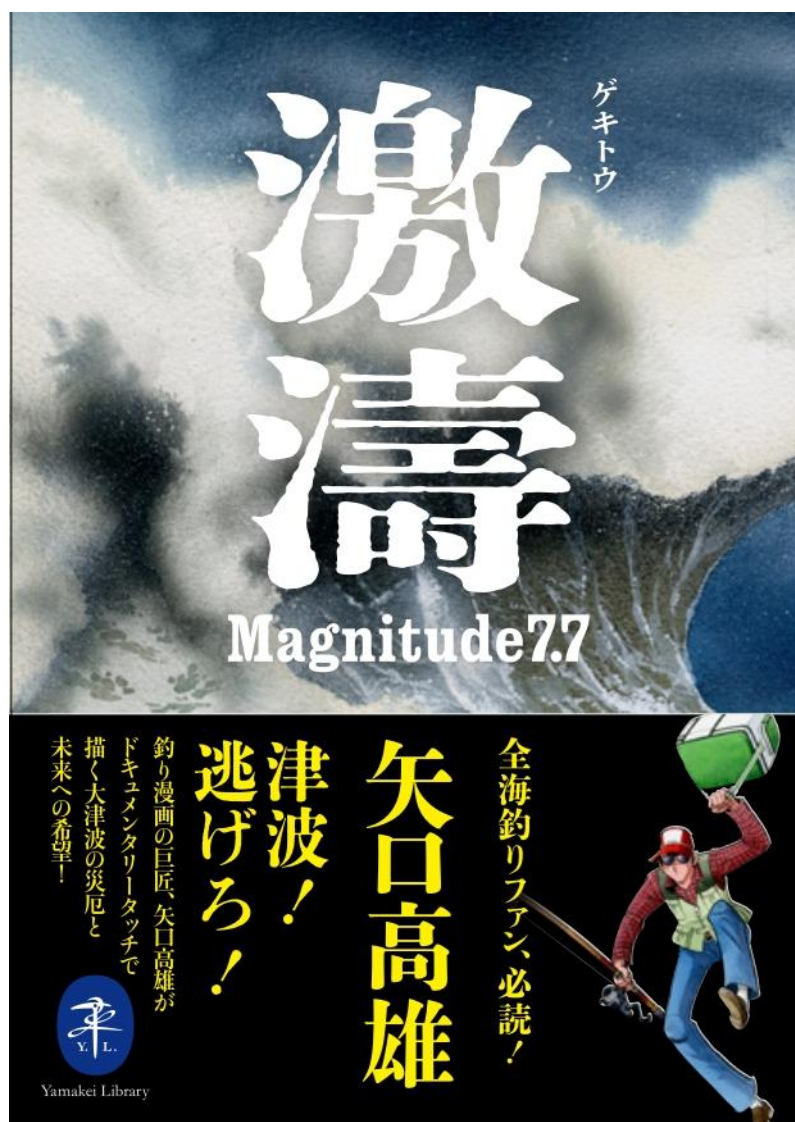
2026 年 2 月 18 日

株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

全海釣りファン必読！ 津波被害をドキュメンタリータッチで描いた傑作
『激濤 ゲキトウ Magnitude7.7』(矢口高雄著)がヤマケイ文庫で待望の復刊！

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、ヤマケイ文庫『激濤 ゲキトウ Magnitude7.7』（矢口高雄著）を刊行いたしました。



1983 年 5 月 26 日正午過ぎ、秋田県能代市西方沖で発生した日本海中部地震はマグニチュード 7.7 を記録し、直後に 10m を超える大津波を引き起こしました。この津波により、秋田県では 79 名の死者を出しましたが、そのうちの 12 名が海釣りを楽しんでいた方々でした。

被害者の調査資料をもとに、釣りをテーマにする漫画家、矢口高雄が襲い来る自然の驚異と釣り人たちの生

死の岐路をドキュメンタリータッチで描いた傑作をヤマケイ文庫で復刊します。

地震大国日本から津波への恐怖が消えることはありません。津波を正しく怖がり、どう備え、そのときが来たらどう動くべきか。この漫画はその的確な一例を教えてください。

(目次より)

File.1 杉村 真[26 歳]
File.2 真昼の恐怖
File.3 吉田啓三[60 歳]
File.4 梶浦貞夫[43 歳]
File.5 追跡調査特別委員会
File.6 滝本 喬[28 歳]
File.7 手紙
File.8 岩田哲男[26 歳]
File.9 再会
File.10 竜ヶ島
File.11 落日
File.12 春季高校野球大会
File.13 磯焼き
File.14 おしん
File.15 イワムシ
File.16 引導
File.17 地震雲

あとがき

解説 池川佳宏

◆著者プロフィール

矢口高雄(やぐち・たかお)／1939 年秋田県雄勝郡西成瀬村(現・横手市)生まれ。本名、高橋高雄。高校卒業後、12 年間の銀行員生活を経て、30 歳で上京。漫画家としてデビューする。1974 年『釣りキチ三平』『幻の怪蛇バチヘビ』により講談社出版文化賞児童まんが部門賞、1976 年『マタギ』により第 5 回日本漫画家協会賞大賞を受賞。2020 年 11 月、膵臓がんにより死去。主な作品に上記のほか『おらが村』『野性伝説』『ニッポン博物誌』『螢雪時代』『平成版 釣りキチ三平』、またエッセイ集に『ボクの学校は山と川』『ボクの先生は山と川』などがある。

◆書誌データ

書名:ヤマケイ文庫『激濤 ゲキトウ Magnitude7.7』

著者:矢口高雄

発売日:2026 年 2 月 18 日

出版社:山と溪谷社

定価:1870 円(本体 1700 円＋税 10%)

680 ページ／文庫判

<https://www.yamakei.co.jp/products/2826050270.html>

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930 年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：稲葉

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: info@yamakei.co.jp

<https://www.yamakei.co.jp/>